

「競技・審判上の注意」

- この大会は、令和8年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程、令和8年度全国中学校体育大会第56回全国中学校バドミントン大会要項および参加細則により行う。

【使用用具・用器具 等】

- (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用具・用器具及び2026年度(令和8年度) 第1種検定合格シャトルを使用する。
- シャトルは、事前試打済みのため、選択は認めない。シャトル交換は、主審が判断するため、指示に従うこと。
- プレーヤーは、マッチ中、ステンシルマーク入りのラケットを使用してはならない。
- 気温の上昇に応じて空調(冷房)を使用する。
- 審判員は、大会本部にて配置する。線審は2人編成で配置する。準決勝・決勝は、サービスジャッジ(サービス高測定器を使用)を配置する。
- 競技用ウェアは、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。上衣背面中央部には、縦20cm、横30cmの範囲内にチーム名及び姓(または姓名)の表示をすること。その際に、競技用ウェア上衣背面にロゴや規定外の文字を直接プリントしている場合は、ゼッケンを用い、四隅を留めてそれを見えないようにすること。また、表彰・入退場・あいさつの際には、上衣の裾は下衣の中に入れること。
- 上衣の背面中央に必ずチーム名及び姓(または姓名)を明記(上段:チーム名、下段:姓(または姓名))する。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字目を小さく入れること。ゼッケンを使用する場合、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とする。)。文字列、背番号は視認性の高い文字(楷書体・明朝体またはゴシック体のような文字、数字(算用数字))を使用し、文字、数字の色は上衣背面の文字列、背番号表示部分の色と明確に区別できる色とする。

※アルファベットを用いる場合は、大文字を使用することを推奨。また、フルネーム表示も可とするが、文字の高さや幅は下記規定通りとする。

【例】

①中学校(拠点校を含む)

<正式名称>〇〇市立△△中学校

<ゼッケン・プログラム対戦表用名称> 〇〇△△中

②地域クラブチーム

<正式名称>〇〇ジュニアバドミントンクラブ

<ゼッケン・プログラム対戦表用名称>〇〇Jr.



※都道府県内に、重複がなければ、「△△中」も可。

- 防汗や整髪のために、ハチマキの使用は認めるが、体裁良く結ぶこと。インナーについては、露出する場合は、審査合格品とする。

10 会場内では、チーム関係者・大会関係者は大会実行委員会から発行された AD カードを必ず携行すること。

11 ベンチまたはコーチ席に入る場合は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。例えば、チームユニフォーム（Tシャツの場合、チーム名の表記があること）・シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズや七分丈パンツ、バミューダ、ショーツ、スリッパ、サンダルは禁止とする。その適否判断は大会レフェリーに委ねるものとする。また、コーチ席に座る者全てにこの規定（公認審判員規程第5条12項（8））は適用される。

※今大会は、記念Tシャツ、広告やスポンサー名およびスポンサーロゴ、都道府県名のための表記の服装は禁止とする。

【競技場への入場可能者】

12 ベンチ・コーチ席に着席できる者について

団体戦でベンチ入りできる者は、登録した監督兼引率（ただし引率のみの外部指導者を除く）1名、コーチまたはマネージャー1名、選手5～7名とする。そのうち、2名がコーチ席に入ることができる。

個人戦でコーチ席入りできる者は、登録した監督兼引率（ただし引率のみの外部指導者を除く）1名、コーチまたはマネージャー・選手・入場許可申請者の1名とする。

【団体戦】

<ベンチ席>

	引率者	監督	コーチまたはマネージャー	選手
	下記の中から1名		下記の中から1名	5～7名
学校 （拠点校含む）	出場校の ・校長 ・教員 ・部活動指導員		<マネージャー> ・校長 ・教員 ・部活動指導員 ・生徒 ・外部指導者 ※外部指導者は、大会参加申込時に外部指導者確認書（団体戦）を提出する。	団体 メンバー
		・外部指導者 ・外部指導者 （引率のみ）	<マネージャー> ・生徒	
地域クラブ活動 （登録済みの所属 員であること）	・代表者 ・事務担当者 （管理者） ・指導者	・依頼監督	<コーチ> ・代表者 ・事務担当者（管理者） ・指導者 ・マネージャー ・所属中学生	団体 メンバー

<コーチ席>

下記の中から2名
団体戦に登録されている ・監督 ・コーチ ・外部指導者 ・マネージャー ・選手
【注意】 ・ADカードを必ず着用すること。 ・監督は、優先してコーチ席に入る。



【個人戦】

<登録者>

	引率者	監督	入場許可申請書	選手
学校 （拠点校含む）	出場校の ・校長 ・教員 ・部活動指導員 ・外部指導者		出場校校長の承認を得て、実行委員会より入場許可を得た者。（当該校生徒も可） ※中学校教職員の場合、当該校以外の中学校教職員は、入場許可申請はできない。	シングルス ダブルス 選手
	・外部指導者 （引率のみ）	・依頼監督		
地域クラブ活動 （登録済みの所属 員であること）	・代表者 ・事務担当者 （管理者） ・指導者		・代表者 ・事務担当者（管理者） ・指導者 ・所属中学生	シングルス ダブルス 選手

<コーチ席>

下記の中から2名
登録されている ・監督 及び ・コーチ ・マネージャー
・入場許可申請者 ・団体登録しているマネージャー または外部指導者 （外部指導者は同性種目のみ） ・団体登録している選手 個人戦に登録している選手 （選手は男女種目を問わない）
【注意】 ・ADカードを必ず着用すること。 ・監督は、優先してコーチ席に入る。 ・外部指導者で異性種目登録のみの者が着席する場合、入場許可申請を行う必要がある。



※「コーチ」は、公認審判員規定第5条第12項(9)に規定された「コーチ」を指すものではない。

(1) 引率者・監督について

- ・引率者と監督は同一人とする。
(ただし引率する外部指導者が監督を辞退し、「依頼監督」を依頼した場合を除く。)
- ・監督は、団体戦・個人戦共に出場する場合、同一人とする。
- ・監督は、優先してコーチ席に入ること。

(2) 外部指導者について

- ・日常の部活動指導に携わっている者とし、出場校の校長が認めた者とする。
- ・団体・個人戦ともに、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。
- ・引率者としての外部指導者が監督を辞退する場合、所定の手続きにより依頼監督を認める。
- ・外部指導者が監督(依頼監督を含む)となった場合、団体戦では、選手以外でベンチ入り(コーチ席入り)できるのは、当該監督と生徒マネージャーのみとする。個人戦では、選手以外でベンチ入りできるのは、監督と入場許可申請者(当該校教員は不可とする)のみ。
- ・同一人が複数校の外部指導者にはなれない。
- ・当該校以外の中学校教職員は外部指導者にはなれない。
- ・外部指導者は「外部指導者確認書(団体戦用)」を大会参加申込みと一緒に送付すること。
- ・外部指導者が異性種目個人戦のコーチ席入りする場合は、入場許可申請をすること。

(3) 入場許可申請者について

- ・個人戦のコーチ席に入することを許可する者のこと
- ・出場校校長・出場チーム代表者の承認、実行委員会の許可を要する。
- ・「入場許可申請書」を大会参加申し込みと一緒に送付すること。
- ・大会期間中の新規申請はできない。変更の必要がある場合は、変更届を提出すること。
- ・同一人が、複数チームの入場許可申請をすることはできない。
- ・入場許可申請は、男女別の個人戦とし、それぞれ1名ずつの申請者を認める。
- ・競技場に入る際は、受付時に配布する「入場許可証」の掲出を要する。
- ・下記団体戦登録メンバーは、入場許可申請を提出しなくても、個人戦(男女種目を問わず)のコーチ席入りができる。(外部指導者を除く)

	入場許可申請の必要のない団体戦登録メンバー
学校	・監督 ・マネージャー(校長・教員・部活動指導員・生徒) ※外部指導者…同性種目は申請の必要なし 異性種目は申請が必要
地域クラブ活動	・監督 ・コーチ(代表者・事務担当者(管理者)・指導者) ・マネージャー(所属中学生)

(4) 地域クラブ活動について

- ・監督・コーチになれるのは、当該地域クラブ活動の登録済みの所属員である代表者・事務担当者(管理者)・指導者・所属中学生とする。
- ・マネージャーになれるのは、当該地域クラブ活動の登録済みの所属員である所属中学生とする。

【監督・コーチ・マネージャー・団体選手変更について】

13(1) 監督・コーチ・マネージャー・団体選手変更は、疾病や傷害などの特殊な場合のみとする。

- (2) 団体選手の追加は認めない。
- (3) 申請方法は、以下2点の対応(両方)をすること。
- ① 所定用紙「変更届」を下記期限までに大会事務局に提出する。
 - ② 「変更届」に記載された Google フォームに情報を入力する。

<申請期限>

団体戦(全チーム)	8月20日(木) 8:30 まで
個人戦(21日に出場するチーム)	8月21日(金) 12:00まで
個人戦(22日以降に出場するチーム)	8月22日(土) 8:10まで

※ 詳しくは、「大会参加申込み後の選手等の変更について」、「変更届」を参照。

【試合進行】

- 14 (1) 競技の進行は、時刻及びコートが変更されることがあるため、放送に注意すること。また進行を円滑に進めるため、「オーダー交換」「選手招集」「試合開始」等の放送に注意すること。
- (2) 団体戦は2面展開で実施するが、進行上やむを得ない場合、コートをひらいて実施する場合がある。
- (3) オーダー用紙は、オーダー交換所に提出すること。対戦チームが揃い次第オーダー交換を行うため、指定時間を厳守すること。8月20日(木)1巡目のオーダー交換は「9:20」とし、2巡目以降は、放送で案内する。8月21日(金)の1巡目は、「8:20」とし、2巡目以降は、放送で案内する。
- (4) 試合が連続する場合は、10分以上の間隔を取る。

【公式練習】

- 15 朝の練習については、以下の通りとする。
- (1) 場所 : 指定されたコート(タイムテーブル参照)で行う。
 - (2) 練習時間: 15分間
 - (3) 練習相手: 団体戦…チーム内
個人戦ダブルス…パートナー、シングルス…ヒッティングパートナー(練習相手)
※なお、大会に出場しないため AD を持っていないヒッティングパートナーは、大会に参加する日の朝の受付で申し出て、ヒッティングパートナーの AD を発行してもらい、着用すること。
 - (4) シャトル : 各チームで用意
- 16 マッチ前の練習については、以下の通りとする。
- (1) 場所 : 試合で使用するコート
 - (2) 練習時間: 団体戦…2分間
個人戦…3分間
 - (3) 練習相手: シングルス…対戦相手同士、ダブルス…パートナー
 - (4) シャトル : 本部で用意

【入場時の携行品】

- 17 競技フロアに持って行くものは、選手 AD、交換用ラケット(ケースから出しておく)、着替え用競技用ウェア、タオル、大塚製薬(株)製のスクイズボトル等のドリンク、コールドスプレー類、滑り止め剤までとし、各自のバッグ等に収容する。救急セット、その他のものはベンチまたはコーチ席に置くこと。

【主審の許可】

- 18 水分補給、汗ふき、靴ひもの直し、滑り止めの使用、ストリングス(ガット)を切ることについては下記の点に留意し、必ず主審の許可を得てから行うこと。マッチ(試合)を中断しないように心掛ける。
- (1) 水分補給の際は、大塚製薬(株)製のスクイズボトル等(受付時に配布されたスクイズボトル、以前か

ら所持しているスクイズボトル・スクイズボトルキャリア・真空断熱スポーツボトル)を使用すること。また、熱中症対策として個人が所有している水筒等(カバー付きのペットボトル)も併用して持ち込むことも可能とする。その際、他の飲料メーカーの名前やロゴが入っているものについては、テーピングでマスキングをする等、メーカー名が見えないようにすること。コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないため、バッグ等を持参し、コートサイドに置き、ドリンクも各自のバッグに収容すること。

- (2) 氷嚢の使用はインターバルのときのみ認める。また、フロアー内への大きなクーラーボックスの持ち込みは禁止するが、ベンチまたはコーチ席の下に入るような小さいものは持ち込みを可とする。ただし、ベンチまたはコーチ席の下に置き、フロアーを濡らすことのないように十分注意すること。
- (3) 団扇については、インターバル時のみ使用を認める。ただし、叩くなどの音を出す行為は、いかなる場合でも禁止とする。
- (4) シューズの滑り止め(シューダスターボードなど)の使用は、インターバルのときのみ認める(主審の許可は不要)。プレー中はコートサイドに置いたままにせず、コーチ席に置くこと。
- (5) プレーが不当に中断しない範囲で、汗拭きのためのタオルの使用やラケット交換時にガットを切ること(素早く行うことができる場合に限る)を認める。

【スコアリングシステム】

- 19 すべての種目を15点3ゲーム(ラリーポイント制)にて行う。スコアが14点オールになった場合には、その後最初に2点リードしたサイドがそのゲームでの勝者となる。20点オールになった場合には、21点目を先に得点したサイドがそのゲームでの勝者となる。

【サービス】

- 20 サーバーのラケットで打たれた瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から1.15m以下でなければならない。
- 21 サーバーは、スピンを加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。

【インターバル】

- 22 すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが8点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。また、インターバルを除き、マッチ中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。

【アドバイス】

- 23 シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り、プレーヤーはマッチ中のアドバイスを受けることができる。プレーの遅延行為とならないよう、十分に注意すること。プレーヤーはインターバルを除き、マッチ中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。コーチ席に座る者はインプレーでなくなった場合のみ移動できる。
- 24 インターバル中に、コートでアドバイスできるのは2人までとする。プレーヤーがエンドを変えた後にアドバイスをし、主審の「…20秒」のコールでコートから離れなければならない。(所定の席につくこと)

【抗議・異議、質問】

- 25 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められない。審判員の判定に対して疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に、またはマッチ終わりであれば訴えるサイドがコートを離れる前に、個人戦ではプレーヤーが、団体戦では当該プレーヤーと監督に限り「質問」をすることができる。

【注意・警告・フォルト・失格】

26 以下の違反をしたサイドに主審は警告をする。一度警告を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドをフォルトとする。目に余る不品行な振舞い、執拗な違反には、その違反したサイドをフォルトにする。一つのサイドによる警告後の違反行為によるフォルトは執拗な違反とみなされる。

- (1) 体力や息切れを回復するためのプレーの遅延
- (2) アドバイスを受けることによるプレーの遅延
- (3) インプレー中にアドバイスを受ける違反
- (4) プレーを故意に遅らせたり中断したりする行為
- (5) シャトルのスピードや飛び方を変えるために故意にシャトルに手を加えたり、破損したりすること
- (6) 審判員や観客に対しての横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動
- (7) ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩くこと
- (8) 耳障りな掛け声や叫び声を発すること
- (9) 競技規則を越えた不品行または不快な行動

【会場ルール】

27 会場内の施設にシャトルが触れた場合はフォルトとする。(会場ルール)

【怪我・事故】

28 マッチ中に怪我または病気には慎重かつ適切に処理しなければならない。主審はこの問題についてできる限り早く決断するよう努めなければならない。もし、必要であればマッチを中断する。必要に応じてレフェリーを呼び、その判断に従う。

29 全ての審判員は「人命は全てに優先する」を旨とし、プレーヤーをはじめとする全ての関係者が人命にかかわる事態に遭遇した際、速やかに人命救助、救命処置を躊躇せず実行する。

30 試合中の負傷・疾病については応急手当のみ行う。その後の処置は各自の責任とする。

【棄権】

31 棄権について

- (1) 当該プレーヤーか監督がレフェリーに申し出る。
(事前に申し出る場合には棄権届用紙に必要事項を記載し、提出する)
- (2) 対戦前に対戦相手が棄権となった場合、勝者は選手招集のアナウンス後に、大会本部で勝者サインをする。
- (3) 団体戦のマッチを棄権した場合、それ以降の団体戦や個人戦への出場はレフェリー判断とする。
- (4) 団体戦ではプレーヤーおよび監督、個人戦ではプレーヤーがマッチの開始時にコートへの放送呼び出しに応じず、5分以上経過した場合、不戦勝として棄権の措置をとることがある。その判断はレフェリーが行う。

【禁止行為】

32 競技者およびコートサイドにいる者は、試合中における電子通信機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等)の使用を禁止する。コートに持ち込む際は必ず電源を切っておくこと。

33 競技エリア内での撮影は禁止する。(取材・写真販売業者等、あらかじめ許可を得ている者を除く)